



「風薫る」

添田 眞二さん 撮影

絞リ F11 (-1.0EV)
フィルム ベルビア100F
シャッター 250分の1

写真サークル
ピンボケ会

短歌会

(三月例会)

矢野京子選

日にいく度忘れぬためにメモ取れどスーパ―に
そのメモを忘るる

金田 敏子

無為なる日などは無かりし農われの老ゆれば遣
りぬ無為なる日々を

林田トシ子

切株より伸びるし桃の枝々に咲く花蕊しべのももい
ろも濃し

下原スミエ

しめやかに夜の雨に濡れしイカリ草白と紫うつ
むきて咲く

原 哲子

冬ぬくく着ざりし厚手のセーターを茶櫃ちまひつにしま
ふうらら日けふは

香月 昭子

俳句会

(二月例会)

大庭土筆選

特選

啓蟄けいちつや鉾山やましのうん終焉ひの碑ひは古りぬ

藤田 昌愁

啓蟄けいちつや小学校てんがに狸ねこの子

野上マチ子

本選

わが庭に啓蟄けいちつといふ日のめぐり

原口 孝子

水ぬる温ぬるむ泡あより生あれし小鮒こぶなかな

小林 優子

稚魚ちぎよ放はなつ子こ等の歡声こゝろ水ぬる温ぬるむ

森本 妙子

地域活性化に40年…

商工会青年部が記念誌を作成



桂川町商工会青年部が創立40周年を記念して、直近10年間の活動記録をまとめた冊子を作成しました。特に昨年は、桂川町の明日を創る会と協同で開催した「Kei-1」など、多数の町づくりイベントを企画し、桂川町の活性化を図りました。

「これからも、地域に根ざしたイベントや取り組みに頑張りますので、よろしくお願いします」と、八児部長。

なお、冊子中に掲載している「Kei-1」の記事については、大きなパネルに張って、公共施設に展示されています。

ぜひ、ご覧ください。

編集◆後記

▶共働きの私の家は、朝も夜も戦争状態。幸い、今は産休中の妻が一日中、家にいてくれるので助かっている。妻は「今のうちに料理の腕を上げておかないと…」と一念発起。

▶私が子どもたちに「お母さんの料理で何が好き？」と聞くと、二人そろって「さしみ!」。それってお母さんの料理じゃないよ。

▶この言葉に妻は絶句。「このままでは、食育がだめだ」と反省。その日、腕によりをかけて、料理に時間をかける妻の姿が台所に見られた。

▶ついに完成し、妻は自信満々に、晩御飯を食卓に並べる。妻は早速子どもたちに問う。「今日のごはん、おいしい?」。すると子どもたちは満面の笑みで「うん。手作りみたいでおいしい」。子どもたちよ、これが手作りだ。教訓：食育は一日にしてならず